

## 第93春季年会「優秀講演賞（産業）」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、平成8年度開催の第72春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的に「講演奨励賞」を、平成20年度からは「優秀講演賞（産業）」と改称し、顕彰してきました。平成24年度からは、対象分野をアドバンスト・テクノロジー・プログラム（ATP）で実施されるATPポスターに限定して、審査・選考、表彰を行うことといたしました。

この「優秀講演賞（産業）」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、且つ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの。」に対して会長名で表彰するものです。

第93春季年会は3月22日（金）～25日（月）までの4日間、立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催され、審査希望のあった若手研究者（40歳以下の正会員および学生会員）の講演を対象に産業界の審査員が審査致しました。産学交流委員会による選考委員会で慎重に選考の結果、今年度の受賞者として、申請のあった45件の中から下記の3名が選出されました。選考委員会で高い評価を得て表彰に値すると認定されたこれらの受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待致しまして、受賞者の所属機関長を經由して表彰状をお届けいたしました。

### 優秀講演賞（産業） 受賞者一覧

#### [エネルギー]

- ・ 福林夢人 氏（ユニチカ中研）  
2PD-007 「フレキシブルで高耐熱なポリイミド-シリカ多孔質体の創製」

#### [資源・環境・GSC]

- ・ 森戸春彦 氏（東北大多元研）  
2PD-036 「Na融液中の溶解再析出によるSi結晶の高純度化」

#### [医療・ヘルスケア]

- ・ 開発邦宏 氏（阪大産研）  
2PD-070 「インフルエンザウイルスのゲノム保存配列を迅速・目視で診断する新規ペプチド核酸クロマトの開発」